

令和2年度城山高等学校不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
公務外非行	社会的な高度な行為規範を求められることを常に意識して行動し、「報告・連絡・相談」を意識した職務遂行を心がける。	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事などの具体的な事例を通して、日常的に意識啓発に努めた。自己の振り返りを実施して、個々の職員が法令遵守（コンプライアンス）の意識を高めた。 ・個別面談などを通して、教育公務員としての意識を啓発する時間を設定し、発生件数ゼロを達成できた。
セクハラ・わいせつ行為・パワハラ マタハラの防止	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話、電子メールの取扱いに注意する。 ・教科準備室の適切な利用を徹底する。 ・教師と生徒の立場を意識して行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事などの具体的な事例を通して、日常的に意識啓発に努めた。 ・職員対象に事故事例を活用して研修を実施し、職員一人ひとりの人権意識を高め意識喚起を図ることができ、発生件数ゼロを達成できた。
いじめ、体罰、不適切指導の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・指導場面で感情に流された指導をしない。 ・常に相手の立場に立った言動を心がける。 ・生徒理解に基づく指導の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事などの具体的な事例を通して、日常的に意識啓発に努めた。 ・職員対象に事故事例を活用して研修を実施し、職員一人ひとりの人権意識を高め意識喚起を図ることができ、発生件数ゼロを達成できた。
私費会計・現金管理	<ul style="list-style-type: none"> ・「神奈川県財務規則」「私費会計基準」に則り、適正に処理する。 ・適正な会計用紙を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝票の起案時に「私費会計基準」や「私費会計事務処理の手引」に基づいて、具体的な指導を通じて、問題点を整理し、適正な予算編成と公正な執行を管理した。 ・監査などの機会を活用して、執行状況を確認し、指摘事項を整理し、具体的な改善を行った。
個人情報管理・情報セキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の流出を未然に防止する。 ・個人情報持ち出し許可願いを適切に運用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器等の適切な使用について、徹底を図った。 ・教育委員会の事故不祥事防止啓発資料やチェックシートを職員に配付して、意識啓発を図り、個人情報の漏洩を防止し、事故発生件数ゼロを達成することができた。 ・ICT活用のための情報や試験答案など個人情報の管理を徹底し、USBメモリーの管理も徹底した。
交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転の防止	交通事故の発生を未然に防止するとともに酒酔い、酒気帯び運転のゼロを維持する。	<ul style="list-style-type: none"> ・酒酔い・酒気帯び運転防止のための研修を実施し、職員の意識を高めることができ、発生件数ゼロを達成できた。 ・交通事故については、今後より徹底した取組を推進する。
業務執行体制	各種業務執行に際して、教職員の意識やシステムの適正化を図り、事故を事前に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・起案を徹底することを通して、職員間の情報共有体制の充実に繋がった。 ・入学者選抜業務、調査書の作成・発行、テスト問題の作成及び成績処理に対する意識を高め、作業・点検体制の必要な見直しを行い、事故発生件数ゼロを達成することができた。

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

令和2年度は、「(1)外部講師(弁護士等)による研修会の実施、(2)若手教員による研修会の充実、(3)職員への個別面談」の3つを重点的な課題としたが、新型コロナウイルス感染防止対応を優先したことで、十分な取組ができなかった。令和3年度は、実施できなかった若手教員による研修会を実施し、教職員の対話で雰囲気醸成することを目指す。さらに、教職員間の対話を促進するために必要な安全安心な職場づくりについても引き続き進めることで、職員一人ひとりが充実した事故・不祥事防止に取り組むことができるようにする。さらに、令和2年度の重点目標であった「新聞記事等の活用による啓発活動」については、十分に取組むことができたので、来年度もさらなる充実を目指す。

令和3年度は、次の3点に重点化して、不祥事ゼロに向けて取り組む。

- (1) 若手教員による研修会の充実
- (2) 外部講師(弁護士等)による研修会の実施
- (3) 職員への個別面談